

浜の活力再生プラン  
令和4～8年度  
(第2期)

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	赤須賀地域水産業再生委員会
代表者名	会長 水谷 隆行 (赤須賀漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の構成員	赤須賀漁業協同組合、桑名市
オブザーバー	三重県津農林水産事務所水産室

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>【対象となる地域】 桑名市赤須賀 (赤須賀漁協管内)</p> <p>【漁業の種類】 小型機船底びき網漁業 71名</p>
-------------------	---

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

赤須賀地域では、木曾三川（揖斐川、長良川及び木曾川）の河口域（三重共第1、2共同漁業権内）及び木曾三川の内水面漁場内（揖斐川、長良川及び木曾川のうち三重共第1号及び三重共第2号共同漁業権区域との境界から上流の水域）において、ハマグリ、ヤマトシジミ等の貝類を対象とした小型機船底びき網漁業（手繰第3種漁業（貝けた網））が営まれている。

昭和40年代に年間3,000tもの漁獲量があったハマグリは、高度経済成長期の開発による漁場の激減等により、平成7年には1t以下にまで漁獲量が低迷した。その後、赤須賀漁協による厳格なハマグリ資源管理、人工種苗生産と稚貝放流、干潟の造成・保全、密漁防止パトロール等の活動により、平成24年にはハマグリ年間漁獲量が200tを超えるまでに回復したものの、近年の漁場環境の悪化により、漁獲量は再び減少に転じている。このため、資源管理の取組を一層推進する必要がある。

また、安定した漁獲量でハマグリ低迷期の漁家収入を支えてきたヤマトシジミについても、近年、その資源量が激減しており、持続的な漁獲維持のために、三重県及び愛知県内の近隣漁協等と協力した資源管理の取組が必要となっている。

さらに、ハマグリ・ヤマトシジミの漁獲量減少により、これまで未利用資源であったオキシジミについても商業的な漁獲を進めていることから、認知度向上と漁獲量の維持を両立していく必要がある。

## (2) その他の関連する現状等

赤須賀漁業協同組合では、漁場消失の原因となった開発事業等に対して抵抗運動を展開したが、開発事業を中止出来なかった。この背景には、漁業や漁場を育む自然環境と地元住民との繋がりの消失とそれによる理解者の減少があると認識している。このような過去の苦い経験から、赤須賀地域の漁業の存続には、地元住民の理解・応援が必要不可欠であると考え、地元住民に対して赤須賀地域で獲れる水産物や漁業に親しむイベントを開催するとともに、地元の学校給食に水産物を提供

することで、ハマグリ・ヤマトシジミ等の地産地消を促進する活動に取り組み、失われた地元の仲間との「絆」の復活に取り組んできた。

このような地元住民との関係構築の取組や資源管理の取組が評価され、平成 29 年には「桑名のはまぐり」が三重ブランドに認定されるなど、継続してきた取組が赤須賀地域の水産物の知名度向上にも貢献している。

一方で、大消費地の関東圏・関西圏での知名度が依然低いことが課題となっている。赤須賀地域の漁業の存続・発展には、地元だけでなく、地域の漁業を支える新たな理解者、応援団を増やすことが必要不可欠であるため、付加価値を創造して県外の市場を開拓し、新たな仲間との「絆」を作る必要がある。

### 3 活性化の取組方針

#### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

## (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

### 1. 漁業収入向上のための取組

#### (1) 漁獲量向上のための取組

- 1) 組合独自の自主的資源管理措置（漁獲量制限）の公的措置への上乗せ実施
- 2) 組合、市、県等の連携による、組合種苗生産施設等でのハマグリ種苗の生産及び放流の実施
- 3) 組合、市、県、国土交通省等との連携による、ヤマトシジミの移植放流及び保護区の設定の実施
- 4) 桑名地区密漁防止対策協議会への参画及び漁場パトロール、市民への密漁防止啓発活動の実施
- 5) 漁場上流域での植樹活動を通じた漁場環境改善
- 6) 組合、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県、国土交通省等の連携による、資源及び漁場環境の調査
- 7) 漁獲量の確保及び漁獲圧の分散を目的とした、未利用資源の活用、代替漁業等の試験研究（スジアオノリ等の試験研究）
- 8) 資源回復に向けた先進地視察、勉強会・研修会の開催及び参加、新たな資源管理措置の検討

#### (2) 単価向上のための取組

- 1) イベント出店、PR活動等を通じた三重ブランド「桑名のハマグリ」の価値向上
- 2) 組合が実施するヤマトシジミの冷凍加工販売事業における販路拡大、出荷調整
- 3) 「はまぐりプラザ（桑名市施設）」と連携したイベント出店、メニュー提供。赤須賀漁業まつりの開催。レシピ開発等による市民、加工販売事業者等に対する認知度向上の取組

#### (3) 地元住民及び新たな仲間との絆づくり

- 1) 市内、木曾三川流域の小中学校、食品関連企業等に向けた出前授業、体験学習、視察受入、試食会等の実施
- 2) 赤須賀漁業まつり等のイベントの開催及び出店

### 2. 漁業コスト削減のための取組

#### (1) 省燃油活動の実施

- 1) 定期的な船底清掃（年一回以上）、減速航行等の励行による省燃油活動の推進
- 2) 漁船エンジン、漁業生産設備更新の際の省エネ機器等の導入推進
- 3) 漁業経営セーフティネット事業への加入促進による燃油高騰対策の実施

## (2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・ 漁業関係法令（三重県漁業調整規則第36条「殻長3cm以下のハマグリ」の採捕禁止）
- ・ 資源管理計画（ハマグリ・ヤマトシジミの週4日休漁）

- ・ 漁業権行使規則（漁法の制限等）
- ・ 組合による自主的資源管理措置（一人一日当たり漁獲量制限、ハマグリ 10 kg、ヤマトシジミ 140 kg、オキシジミ 60 kg等）

（３）具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和4年度） 所得向上（基準年比）2.70%

漁業収入向上のための取組	<p>（１）漁獲量向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組合は、独自の自主的資源管理措置（漁獲量制限）を公的措置に上乗せして実施する。</li> <li>2) 組合は、漁業者、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県等と連携し、資源回復に向けたハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミに関する追加的な資源管理措置（殻長制限の拡大、産卵期休漁等）を検討する。</li> <li>3) 組合は、桑名地区密漁防止対策協議会に参画し、漁業者がハマグリ漁場のパトロール及び市民への密漁防止啓発活動等を実施する。（年1回以上）</li> <li>4) 組合は、市、県等と連携して、組合種苗生産施設及び水産研究所でのハマグリ種苗生産を行い、漁業者は種苗放流を実施する。</li> <li>5) 漁業者は、組合、市、県等と連携してハマグリ・オキシジミ漁場の底質及び資源の調査を行い、放流適地の選定及び放流効果を把握する。（年2回）</li> <li>6) 漁業者は、組合、市、県、国土交通省等と連携し、資源増殖に向けたヤマトシジミの移植放流を実施し、放流場所での漁獲は行わない。</li> <li>7) ヤマトシジミ資源への出水の影響が確認されたことから、漁業者が組合、市、県、国土交通省等と連携し、移植放流方法の改善等の対策について検討する。</li> <li>8) 漁業者は、組合、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県等と連携して、ヤマトシジミの資源調査を実施し、移植放流用シジミの採取場所等を検討する。（年1回）</li> <li>9) 漁業者は、組合、市、県等と連携し、漁獲量の確保及び漁獲圧の分散を目的とした、未利用資源（シオフキ、イソシジミ等）の活用、新規漁業（クロノリ、スジアオノリ、ワカメ等）の導入に向けた検討を実施する。</li> <li>10) 漁業者は、漁場上流域での植樹活動を通じた漁場環境改善を実施する。</li> </ol> <p>（２）単価向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、イベント出店、PR活動等の実施による三重県ブランド「桑名のハマグリ」の価値向上を実施する。（はまぐりプラザ食堂でのブランドマークを使用したPR活動等）</li> <li>2) 組合は、生鮮での仲買人への出荷に加えて、ヤマトシジミの買い取り・冷凍加工販売による三重漁連販売等を通じた販路拡大、出荷調整を実施する。</li> <li>3) 漁業者は、市の施設「はまぐりプラザ」食堂との連携、赤須賀漁業まつり、レシピ開発等による市民、加工販売事業者等への認知度向上の取組を実施する。（はまぐりプラザでの展示会の定期開催。年1回の赤須賀漁業まつり等）</li> </ol> <p>（３）地元住民及び新たな仲間との絆づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、市内、木曾三川流域の小中学校、食品関連企業等に向けた出前</li> </ol>
--------------	---

	<p>授業、体験学習、視察受入、試食会等を実施する。</p> <p>2) 漁業者は、赤須賀漁業まつり等のイベントの開催及び出店を実施する。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 漁業者が、下記の省燃油活動を実施する。</p> <p>1) 年1回以上の船底清掃。減速航行等の励行による省燃油活動の推進</p> <p>2) 漁船エンジン、漁業生産設備更新の際の省エネ機器等の導入推進</p> <p>3) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進による燃油高騰対策の実施</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（収入向上（1）-2））（市）</li> <li>・ 水産多面的機能発揮対策事業（収入向上（1）-6））（国）</li> <li>・ 木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（収入向上（1）-8））（国）</li> <li>・ 漁業経営セーフティーネット構築等事業（コスト削減（1）-3））（国）</li> <li>・ 漁業まつり助成事業補助金（収入向上（2）-3））（市）</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（コスト削減（1）-2））（国）</li> </ul>

2年目（令和5年度） 所得向上（基準年比）5.40%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲量向上のための取組</p> <p>1) 組合は、自主的資源管理措置（漁獲量制限）の公的措置への上乗せ実施を継続する。2) 組合は、追加的な資源管理措置（殻長制限の拡大、産卵期休漁等）を実施するとともに、下記5)、7)の資源調査等により効果把握を実施する。</p> <p>3) 組合及び漁業者は、桑名地区密漁防止対策協議会への参画を通じたハマグリ漁場のパトロール及び市民への密漁防止啓発活動を継続する。</p> <p>4) 組合及び漁業者は、ハマグリ種苗生産及び放流を継続する。</p> <p>5) 漁業者は、組合、市、県等との連携によるハマグリ・オキシジミ漁場の底質及び資源の調査を継続する。</p> <p>6) 漁業者は、出水の影響を考慮した新たなヤマトシジミの移殖放流及び放流場所の禁漁を実施する。</p> <p>7) 漁業者は、組合、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県等との連携によるヤマトシジミの資源調査を継続する。</p> <p>8) 漁業者は、組合、市、県等と連携し、新規漁業の漁場選定、試験操業、試験養殖等を実施し、技術習得、試食会等を実施する。</p> <p>9) 漁業者は、植樹活動を通じた漁場環境改善を継続する。</p> <p>(2) 単価向上のための取組</p> <p>1) 漁業者は、ブランドハマグリの価値向上の取組を継続するとともに、出荷されたハマグリのトレーサビリティの確立及びブランドマーク使用体制の構築等を検討する。</p> <p>2) 組合は、ヤマトシジミの冷凍加工販売事業による販路拡大、出荷調整を継続する。</p> <p>3) 漁業者は、ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの認知度向上の取組を継続する。</p> <p>(3) 上記取組を支える地元住民及び新たな仲間との絆づくり</p> <p>1) 漁業者は、出前授業、体験学習、視察受入、試食会等を継続する。</p>
--------------	--

	2) 漁業者は、赤須賀漁業まつり等のイベントの開催及び出店を継続する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 漁業者は、下記の省燃油活動を継続する。 1) 年1回以上の船底清掃。減速航行等の励行による省燃油活動の推進 2) 漁船エンジン、漁業生産設備更新の際の省エネ機器等の導入推進 3) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進による燃油高騰対策の実施
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（収入向上（1）-2））（市）</li> <li>・ 水産多面的機能発揮対策事業（収入向上（1）-6））（国）</li> <li>・ 木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（収入向上（1）-8））（国）</li> <li>・ 漁業経営セーフティーネット構築等事業（コスト削減（1）-3））（国）</li> <li>・ 漁業まつり助成事業補助金（収入向上（2）-3））（市）</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（コスト削減（1）-2））（国）</li> </ul>

3年目（令和6年度） 所得向上（基準年比）8.10%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲量向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組合は、自主的資源管理措置（漁獲量制限）の公的措置への上乗せ実施を継続する。</li> <li>2) 組合は、追加的な資源管理措置（殻長制限の拡大、産卵期休漁等）を継続するとともに、下記5)、7)の資源調査等の結果を踏まえて必要な変更等を実施する。</li> <li>3) 組合及び漁業者は、桑名地区密漁防止対策協議会への参画を通じたハマグリ漁場のパトロール及び市民への密漁防止啓発活動を継続する。</li> <li>4) 組合及び漁業者は、ハマグリ種苗生産及び放流を継続する。</li> <li>5) 漁業者は、組合、市、県等との連携によるハマグリ・オキシジミ漁場の底質及び資源の調査を継続する。</li> <li>6) 漁業者は、出水の影響を考慮した新たなヤマトシジミの移殖放流及び放流場所の禁漁を継続するとともに、下記の資源調査等の結果を踏まえて必要な変更等を実施する。</li> <li>7) 漁業者は、組合、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県等との連携によるヤマトシジミ資源調査を継続する。</li> <li>8) 漁業者は、新規漁業等の取組を継続するとともに、本格操業に必要な許可の取得に向けた調整や販売網の確保に取り組む。</li> <li>9) 漁業者は、植樹活動を通じた漁場環境改善を継続する。</li> </ol> <p>(2) 単価向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、ブランドハマグリの価値向上の取組を継続するとともに、出荷されたハマグリのトレーサビリティ、ブランドマーク使用体制についての試験的な運用を開始する。</li> <li>2) 組合は、ヤマトシジミの冷凍加工販売事業による販路拡大、出荷調整を継続する。</li> <li>3) 漁業者は、ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの認知度向上の取組を継続する。</li> </ol> <p>(3) 上記取組を支える地元住民及び新たな仲間との絆づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、出前授業、体験学習、視察受入、試食会等を継続する。</li> </ol>
--------------	--

	2) 漁業者は、赤須賀漁業まつり等のイベントの開催及び出店を継続する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 漁業者は、下記の省燃油活動を継続する。 1) 年1回以上の船底清掃。減速航行等の励行による省燃油活動の推進 2) 漁船エンジン、漁業生産設備更新の際の省エネ機器等の導入推進 3) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進による燃油高騰対策の実施
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（収入向上（1）-2））（市）</li> <li>・ 水産多面的機能発揮対策事業（収入向上（1）-6））（国）</li> <li>・ 木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（収入向上（1）-8））（国）</li> <li>・ 漁業経営セーフティーネット構築等事業（コスト削減（1）-3））（国）</li> <li>・ 漁業まつり助成事業補助金（収入向上（2）-3））（市）</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（コスト削減（1）-2））（国）</li> </ul>

4年目（令和7年度） 所得向上（基準年比）10.80%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲量向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組合は、自主的資源管理措置（漁獲量制限）の公的措置への上乗せ実施を継続する。</li> <li>2) 組合は、追加的な資源管理措置（殻長制限の拡大、産卵期休漁等）を継続するとともに、下記5)、7)の資源調査等の結果を踏まえて必要な変更等を実施する。</li> <li>3) 組合及び漁業者は、桑名地区密漁防止対策協議会への参画を通じたハマグリ・オキシジミの密漁防止活動を継続する。</li> <li>4) 組合及び漁業者は、ハマグリ種苗生産及び放流を継続する。</li> <li>5) 漁業者は、組合、市、県等との連携によるハマグリ・オキシジミ漁場の底質及び資源の調査を継続する。</li> <li>6) 漁業者は、出水の影響を考慮した新たなヤマトシジミの移殖放流及び放流場所の禁漁を継続するとともに、下記の資源調査等の結果を踏まえて必要な変更等を実施する。</li> <li>7) 漁業者は、組合、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県等との連携によるヤマトシジミ資源調査を継続する。</li> <li>8) 漁業者は、新規漁業等の本格操業を開始するとともに、水揚げの安定化、販売網の拡大に取り組む。</li> <li>9) 漁業者は、植樹活動を通じた漁場改善を継続する。</li> </ol> <p>(2) 単価向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、ブランドハマグリ・オキシジミの価値向上の取組を継続するとともに、ハマグリ・オキシジミのトレーサビリティ、ブランドマーク使用体制の本格的な運用に取り組む。</li> <li>2) 組合は、ヤマトシジミの冷凍加工販売事業による販路拡大、出荷調整を継続する。</li> <li>3) 漁業者は、ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの認知度向上の取組を継続する。</li> </ol> <p>(3) 上記取組を支える地元住民及び新たな仲間との絆づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、出前授業、体験学習、視察受入、試食会等を継続する。</li> </ol>
--------------	--

	2) 漁業者は、赤須賀漁業まつり等のイベントの開催及び出店を継続する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 漁業者は、下記の省燃油活動を継続する。 1) 年1回以上の船底清掃。減速航行等の励行による省燃油活動の推進 2) 漁船エンジン、漁業生産設備更新の際の省エネ機器等の導入推進 3) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進による燃油高騰対策の実施
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（収入向上（1）-2））（市）</li> <li>・ 水産多面的機能発揮対策事業（収入向上（1）-6））（国）</li> <li>・ 木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（収入向上（1）-8））（国）</li> <li>・ 漁業経営セーフティーネット構築等事業（コスト削減（1）-3））（国）</li> <li>・ 漁業まつり助成事業補助金（収入向上（2）-3））（市）</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（コスト削減（1）-2））（国）</li> </ul>

5年目（令和8年度） 所得向上（基準年比）13.50%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲量向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組合は、自主的資源管理措置（漁獲量制限）の公的措置への上乗せ実施を継続する。</li> <li>2) 組合は、追加的な資源管理措置（殻長制限の拡大、産卵期休漁等）を継続するとともに、下記資源調査等の結果を踏まえて必要な変更等を実施する。</li> <li>3) 組合及び漁業者は、桑名地区密漁防止対策協議会への参画を通じたハマグリ・オキシジミの密漁防止活動を継続する。</li> <li>4) 組合及び漁業者は、ハマグリ種苗生産及び放流を継続する。</li> <li>5) 漁業者は、組合、市、県等との連携によるハマグリ・オキシジミ漁場の底質及び資源の調査を継続する。</li> <li>6) 漁業者は、出水の影響を考慮した新たなヤマトシジミの移殖放流及び放流場所の禁漁を継続するとともに、下記の資源調査等の結果を踏まえて必要な変更等を実施する。</li> <li>7) 漁業者は、組合、木曾三川シジミ漁業協議会、市、県等との連携によるヤマトシジミ資源調査を継続する。</li> <li>9) 漁業者は、新規漁業等の本格操業、水揚げの安定化、販売網の拡大の取組を継続する。</li> <li>9) 漁業者は、植樹活動を通じた漁場改善を継続する。</li> </ol> <p>(2) 単価向上のための取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、ブランドハマグリ・オキシジミの価値向上の取組を継続するとともに、出荷されたハマグリ・オキシジミのトレーサビリティ、ブランドマーク使用体制の本格運用を継続する。</li> <li>2) 組合は、ヤマトシジミの冷凍加工販売事業による販路拡大、出荷調整を継続する。</li> <li>3) 漁業者は、ハマグリ、ヤマトシジミ、オキシジミの認知度向上の取組を継続する。</li> </ol> <p>(3) 上記取組を支える地元住民及び新たな仲間との絆づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漁業者は、出前授業、体験学習、視察受入、試食会等を継続する。</li> </ol>
--------------	---



	2) 漁業者は、赤須賀漁業まつり等のイベントの開催及び出店を継続する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 漁業者は、下記の省燃油活動を継続する。 1) 年1回以上の船底清掃。減速航行等の励行による省燃油活動の推進 2) 漁船エンジン、漁業生産設備更新の際の省エネ機器等の導入推進 3) 漁業経営セーフティーネット事業への加入促進による燃油高騰対策の実施
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金（収入向上（1）-2））（市）</li> <li>・ 水産多面的機能発揮対策事業（収入向上（1）-6））（国）</li> <li>・ 木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務（収入向上（1）-8））（国）</li> <li>・ 漁業経営セーフティーネット構築等事業（コスト削減（1）-3））（国）</li> <li>・ 漁業まつり助成事業補助金（収入向上（2）-3））（市）</li> <li>・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（コスト削減（1）-2））（国）</li> </ul>

(4) 関係機関との連携

<p>これらの計画内容が十分発揮されるよう、漁業者、組合が中心となって、下記のとおり関係機関と連携して取組を進める。</p> <p>桑名市、県（県庁、津農林水産事務所、水産研究所等）…技術的指導、支援措置の活用等での連携 国土交通省…河川環境の改善との分野での連携 木曾三川シジミ漁業協議会、桑名漁業協同組合連合会…資源管理等での連携 三重県漁業協同組合連合会…販路拡大、単価向上等の分野での連携</p>
--

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	令和2年度：漁業所得 円（1経営体当たり）
	目標年	令和8年度：漁業所得 円（1経営体当たり）

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

① 冷凍ヤマトシジミの販売金額	基準年	令和2年度：20,202,363円
	目標年	令和8年度：22,222,599円

② 地元小学校で実施する水産教室を卒業した小学生の累計人数	基準年	令和2年度：10名
	目標年	令和8年度：50名

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

① 現在、冷凍ヤマトシジミは三重県漁連を通じて通販や小売業の加工向けとして販売されている。広い販売網を活用した効率的なPRのほか、原料買い付けのために組合が入札に参加することで価格調整や出荷調整の効果が期待できることから、今後5年間で取扱金額の増加を目指す。
② 現在、赤須賀漁協が地元小学生に実施している水産教室では、干潟の生物観察、港や漁場の見学、ハマグリ の種苗放流体験等、学年ごとに異なる内容を実施することで、卒業までに漁業への理解を深めてもらっている。これらの取組は、将来の担い手づくりのほか、市民の資源管理や密漁防止の意識醸成、地元水産物のファンの獲得、消費拡大等の効果が期待できることから、今後5年間ですべての授業を経て卒業した小学生の増加を目指す。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
桑名名産蛤種苗確保育成対策事業補助金 (桑名市一般会計予算)	放流用ハマグリ の人工種苗生産
水産多面的機能発揮対策事業 (水産庁水産多面的機能発揮対策交付金)	ハマグリ の稚貝放流、植樹活動、浮遊・堆積物の除去、モニタリング活動(2回/年)による干潟等の保全活動、小中学校の社会見学の受け入れ・出前授業による普及啓発活動
木曾三川下流部魚介類生息環境調査検討業務 (国土交通省)	木曾三川におけるヤマトシジミ の資源状況調査の実施及び国土交通省木曾川下流河川事務所、桑名市、三重県等の関係機関によるシジミ勉強会の開催
漁業経営セーフティネット構築等事業 (水産庁漁業経営セーフティネット構築事業)	燃油高騰による漁業経営の圧迫・悪化の緩和
漁業まつり助成事業補助金 (桑名市一般会計予算)	地元水産物の地産・地消の促進、PR活動を目的とした赤須賀漁業まつりの開催(1回/年)
競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (水産庁水産業競争力強化緊急事業)	省エネ機器等の導入推進による漁業コストの削減